

科目区分	専門分野			科目番号	1104	曜日時間	不定期
授業科目	小児看護学援助論Ⅲ						
単位数	1 単位	時間	1 6 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	上原 由加里						
授業目的	小児看護学で学んだ知識を基に、疾患が小児と家族の生活にあたえる影響を理解し、具体的な看護の方法を学ぶ。						
中核	疾患をもつ子どもとその家族の成熟過程の支援						
授業目標	1. 小児の成長・発達を踏まえた全体像と、家族のアセスメント方法について理解できる。 2. 疾患が小児と家族の生活にあたえる影響を理解し、看護過程を展開できる。 3. 具体的な看護計画が立案できる。 4. 看護の実際を演習で実施できる。 5. 実施した演習を振り返り、自己の課題を見出すことができる。 6. 入院中の患児や家族を通して病棟の看護師の役割について理解できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容		授業方法	時間	備考	
	1	入院中の患児の思考過程と看護 「気管支喘息」情報収集		講義 GW	2		
	2	アセスメント（小児の特徴をふまえて） 酸素療法について		講義 GW	2		
	3	アセスメント（小児の特徴をふまえて） ピークフローについて		講義 GW	2		
	4	全体像（家族や治療を含めて）		講義 GW	2		
	5	援助計画立案（学内演習を見据えて）		講義 GW	2		
	6 7	入院中の患児の思考過程と看護 処置を受ける子どもの看護の実践(学内演習) ネブライザー吸入・プレパレーション等		演習 (必修)	4	実習室	
	8	SOAP・評価・修正（学内演習を振り返って）		講義	2		
終了後課題	ポートフォリオ提出						
評価方法	筆記試験、看護過程、演習、提出物および提出状況、授業態度から総合的に評価する。						
テキスト 参考図書	奈良間 美保他著：小児看護学①小児看護学概論・小児臨床看護総論，医学書院【電子版】 奈良間 美保他著：小児看護学②小児臨床看護各論，医学書院【電子版】						
実務歴 有	看護師：病院勤務 11年 看護教員：学校勤務 5年						
講義への 反映	病院経験における実際の小児看護を通して、小児看護特有の看護の導き出し方と看護技術を理解できる授業を構築する。						
備 考	A4の紙ファイル（ポートフォリオ）を準備して下さい。						